

夏目漱石記念施設寄附趣意書

夏目漱石は、慶応三年（1867）一月五日（新暦では二月九日）、江戸・牛込馬場下横町（現・新宿区喜久井町）に生まれました。帝国大学を卒業し、松山・熊本での教員生活、ロンドンへの留学の後、千駄木・西片（現・文京区）時代を経て、明治四十年（1907）、牛込区早稲田南町（現・新宿区）に転居し、『三四郎』『それから』『門』『こゝろ』など数々の名作を世に送り出しました。この家は「漱石山房」と呼ばれ、漱石を慕う多くの弟子たちが訪れ、「木曜会」と呼ばれる文学サロンも開催されました。そして、大正五年（1916）十二月九日、漱石は四十九歳の生涯を閉じました。新宿区では、この「夏目漱石終焉の地」を近代文学史上重要な場所として、区の「史跡」に指定しています。

夏目漱石が、日本の近代作家の中でひととき大きな存在であることは、誰もが認めるところです。多くの作品が、時代を超えて読者の心を捉え、生きる道標になるとともに、幅広い世代に愛読されている国民的作家です。また、近代日本に向き合った偉大な知識人でもありました。今から百年前、漱石が小説の中で描いた「近代日本」、「資本主義・帝国主義」と「個人や自我」というテーマは、現代社会を生きる私たちの心にも強くそして静かに響いてきます。

かつて「漱石山房」があつたこの地は、多くの漱石愛好者にとって、漱石の暮らしや創作の息づかいを感じることできる象徴的な場所です。新宿区は、この地に漱石生誕百五十周年にあたる平成二十九年（2017）九月の開館を目指して、漱石初の本格的記念館を整備することとしました。記念館では、土地の記憶に結びつく「漱石山房」を一部再現するとともに、常設展示や企画展示、講演会の開催、ブックカフェの運営など活気ある事業活動を行います。そして、多くの人々に何度も訪れていただける記念館を目指します。本記念館の整備によって、文豪・夏目漱石の未来への継承、国内外への漱石文学の発信、さらにはわが国の文化の発展に貢献するため、総力をあげて取り組んでまいります。

事業を進めるにあたり、全国の漱石を愛する皆様、社会各層でご活躍の皆様、また文化芸術の振興に理解の深い企業・団体の皆様の本事業への参画を得て進めたいと考え、「夏目漱石記念施設整備基金」を創設しました。

つきましては、新宿区の（仮称）「漱石山房」記念館の整備、基金設置の趣旨にご賛同をいただき、基金へのご寄附を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十七年九月

新宿区長 吉 住 健 一

夏目漱石記念施設整備基金 賛同者 (平成二十七年六月一日現在)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 嵐山光三郎 (作家) | 中村 稔 (詩人・日本近代文学館名誉館長) |
| 安野 光雅 (画家) | 中山 弘子 (前新宿区長) |
| 石川 雅己 (千代田区長) | 成澤 廣修 (文京区長) |
| 石崎 等 (元立教大学教授) | 野志 克仁 (松山市長) |
| 太田 治子 (作家) | 野村 萬斎 (狂言師) |
| 大西 一史 (熊本市長) | 芳賀 徹 (東京大学名誉教授・静岡県立美術館館長) |
| 奥泉 光 (作家) | 林 望 (作家・国文学者) |
| 加賀 乙彦 (作家) | 半藤 一利 (作家) |
| 蒲島 郁夫 (熊本県知事) | 半藤末利子 (エッセイスト・漱石孫) |
| 鎌田 薫 (早稲田大学総長) | 平岡 敏夫 (筑波大学名誉教授・群馬県立女子大学元学長) |
| 姜 尚中 (政治学者) | 平川 祐弘 (東京大学名誉教授) |
| 黒井 千次 (作家) | 平田オリザ (劇作家・演出家・大阪大学教授) |
| 黒岩 祐治 (神奈川県知事) | 富司 純子 (女優) |
| 小坂 眞治 (安芸太田町長) | 堀江 敏幸 (作家) |
| 五神 真 (東京大学総長) | 牧村健一郎 (朝日新聞社記者) |
| 小宮 里子 (漱石弟子 小宮豊隆 三女) | 舛添 要一 (東京都知事) |
| 小森 陽一 (東京大学大学院総合文化研究科教授) | 又吉 直樹 (吉本興業所屬タレント・「ピース」) |
| 里見 進 (東北大学総長) | 松尾 崇 (鎌倉市長) |
| 島田 雅彦 (作家) | 三浦 雅士 (評論家) |
| 関川 夏央 (作家) | 水村 美苗 (作家) |
| 高階 秀爾 (東京大学名誉教授・大原美術館館長) | 宮崎 駿 (映画監督) |
| 竹下 景子 (俳優) | 宮田 亮平 (東京藝術大学学長) |
| 中川 武 (早稲田大学名誉教授・博物館明治村館長) | 宮部みゆき (作家) |
| 中島 国彦 (早稲田大学文学学術院教授) | 茂木健一郎 (脳科学者・評論家) |
| 中根 滋 (東京理科大学理事長) | 森 まゆみ (作家・編集者) |
| 中村 時広 (愛媛県知事) | |
- 株式会社朝日新聞社「代表取締役社長 渡辺雅隆」
 株式会社岩波書店「代表取締役社長 岡本 厚」
 株式会社紀伊國屋書店「代表取締役社長 高井昌史」
 一般社団法人新宿区印刷・製本関連団体協議会「代表理事 加藤 仁」
 新宿区商店会連合会「会長 大室新吉」
 新宿区町会連合会「会長 大崎秀夫」
 株式会社新潮社「代表取締役社長 佐藤隆信」
 大日本印刷株式会社「代表取締役社長 北島義俊」
 東京商工会議所新宿支部「会長 高野吉太郎」
 株式会社日本財託「代表取締役 重吉 勉」
 株式会社文藝春秋「代表取締役社長 松井清人」
 吉本興業株式会社「代表取締役社長 大崎 洋」